

平成24年度タウントーク質疑一覧（概要もくじ）

質問番号	回答者1	回答者2	質問内容	区 分									
				生活 基盤	生活 環境	保健 福祉	教育 文化	市民 生活	産業	行財 政	施設	その 他	
石橋-1	健康福祉部長	副市長	石橋総合病院の移転整備について			1							
	総務部長	-	市歌の制定について							1			
	建設水道部次長	-	文教通りに立札を	1									
石橋-2	健康福祉部長	-	「デイサロン栄町」センターのバリアフリー化			1							
石橋-3	建設水道部次長	-	上原公園への恒久的なフェンス設置	1									
石橋-4	生活安全課長	市長	石橋庁舎のサイレンはなぜ鳴らさないのか	1									
石橋-5	健康福祉部長	-	デイサービス施設の蛇口を直してほしい										1
石橋-6	教育総務課長	-	細谷小の統合はどのようにすすんでいるか				1						
	農政課長	-	「下野市の人・農地プラン」について						1				
石橋-7	教育総務課長	-	なぜ上町だけ石小と古山小に分かれるのか				1						
	教育総務課長	-	石小と古山小の学童数は				1						
	教育総務課長	-	上町の今の0歳、1歳児の数は				1						
	教育長	-	上町は石小と古山小に分かれており、自治会で育成会の運営に苦慮している				1						
石橋-8	市民生活部長	-	東日本大震災被災者への支援は	1									
国分寺-1	健康福祉部長	-	ゆうゆう館トレーニング室の充実を								1		
国分寺-2	教育次長	-	市民文化祭で場所代を徴収するのはいかがか				1						
国分寺-3	健康福祉部長	-	老人クラブと自治会の橋渡しを行政にお願いしたい			1							
国分寺-4	建設課長	-	市の道路、建物の補修計画はあるか	1									
	総務部長	-	平成30年ごろまでの実質公債比率の推移は							1			
	総合政策部長	-	「おもいやりと交流」を進めるための「活力」を生む政策は							1			
	市長	健康福祉部長	「住んで良かった」を示すデータを。特別養護老人ホーム待機者数は							1			
	総合政策部長	-	広報紙のタイトルを日本語に										1
	教育長	-	教育委員会の職務、権限について							1			
	教育次長	-	生涯学習は市民生活、市民サービスグループに							1			
	教育長	教育次長	学校への警察官OBによる生活指導員の配置				1						
	生活安全課長	-	停電になっても3日間情報提供できるように	1									
国分寺-5	教育次長	-	学校の耐震強度について				1						
国分寺-6	教育次長	-	スポーツ施設の市外利用者の料金を3倍に									1	
国分寺-6	生活安全課長	-	災害を想定したシュミレーションやマニュアルあるのか。	1									
	社会福祉課長	-	災害時に民生委員本人が被災した場合は			1							
南河内-1	市長	-	エコライフまつりの運営を市に					1					
南河内-2	健康福祉部長	-	敬老会は自治会で行うようになるのか			1							
合計				7	0	5	8	1	1	6	2	2	

石橋地区 14件
 国分寺地区 16件
 南河内地区 2件
 合計 32件

平成24年度市政懇談会「市長のいきいきタウントーク」議事録(要約)

期日:平成24年10月25日(木)午後7時～

会場:保健福祉センターきらら館 検診室

1	事前質問
<p>1. 石橋総合病院の移転整備について</p> <p>①下野市が用地を確保する方針とのことだが、市長の用地確保に取り組む決意を伺いたい。</p> <p>②友志会は運営の基本方針として「産科・小児科の復活」を示しているが、移転整備された時点で復活とういことか伺いたい。</p> <p>③確保する用地面積はおよそどれくらいか。</p> <p>2. 市歌の制定について</p> <p>①市歌の制定年度は</p> <p>②併せて市民音頭は</p> <p>③CDを作りますか</p> <p>3. 文教通りに立札を</p> <p>文教通りに「下古山一丁目～三丁目」「文教一丁目～三丁目」の立札を8本立ててほしい。</p> <p>下野市は初めて来た方にも親切だ、ということで文教通り片側に手作りで4本ずつ設置して欲しい。</p> <p>自治医大の南側で大規模な区画整理が行われたが多くの案内表示が見られる。</p>	
回答:健康福祉部長	
<p>1. 石橋総合病院の移転整備について(健康増進課)</p> <p>①市長の用地確保に取り組む決意</p> <p>石橋総合病院の譲渡にあたり、医療法人社団友志会は、これまで石橋総合病院が担ってきた役割を踏まえ、県や地元下野市とも協議をしながら、今後とも現在の診療機能、二次救急輪番等の政策医療についても確保していくとしており、県及び市に対して石橋総合病院の移転整備について支援協力の依頼がなされております。</p> <p>具体的には、石橋総合病院が建築後40年を経過し老朽化が進んでいることから、移転新築を前提に考えており、県及び市に対してその際の支援をお願いしたいとしております。県には財政支援を、下野市には移転新築のための用地の確保と必要な関連公共事業という内容であります。</p> <p>公的医療機関としての機能の維持、小児科・産婦人科の復活、地域医療の更なる充実など、今回の病院の譲渡は本市にとって前向きに受け止めることができるものと考え、早速庁舎内に「石橋総合病院移転問題検討委員会」を設置し、移転用地の確保等についての検討に入ったところであります。</p> <p>今後は、友志会及び県と十分に協議を進め、検討状況や進捗状況につきまして市民の皆様へ報告をしてまいります。</p> <p>②産科・小児科の復活の時期</p>	

医療法人社団友志会が示した基本方針の中に、産科・小児科の復活ということが示されておりますが、これまでの関係者との協議のなかでは具体的な時期は示されておられません、今後、友志会、県及び市との3者による基本合意をまとめていく中ではっきりしていくものと考えております。

回答：副市長

1. ③面積について

現在の石橋総合病院の床面積は約1ヘクタールあります。厚生労働省が示している病院設置基準ですと、3.7倍の3.7ヘクタール必要になります。ただし、高層化など病院の建て方により面積が変化します。今後有志会などと相談しながら必要な面積を確保していくこととなります。

回答：総務部長

2. 市歌の制定について（総務課）

市歌の制定についてのお尋ねですが、昨年もお答えいたしましたとおり、下野市総合計画後期基本計画に「市歌の制定」を位置付けし、平成27年度の新市庁舎の開庁時期、若しくは合併10周年などの節目の時期に合わせて市歌の制定・発表を検討しているところであります。

市歌の制定方法及び内容につきましては、先行する自治体の調査など現在研究を進めているところであり、市民の一体感を醸成していく上で最適な方法を検討しているところであります。

今後は、市歌策定のため皆様の御意見をお聞きする委員会等を設置し、市民音頭やCD化を含め検討して参りたいと考えております。

回答：建設水道部次長

3. 文教通りに立札を（区画整理課）

文教通りの立札設置についてのご要望ですが、下古山の区画整理をされた区域においては、平成22年度にご要望をいただき、換地処分の際にあわせ、案内板を文教通りに2か所、駅東通りに2か所の計4か所の設置をしているところでございます。

案内板は、下古山1丁目～3丁目、文教1丁目～3丁目の各町名ごとに色分けされ、大変わかりやすいものとなっております、案内板としての機能を果たしているものと考えます。

また、簡便なもので良いとのことですが、文教通りは県道となっており標識の構造や道路占用許可など道路管理者との協議が必要であり、市で設置する標識は、職員の手作りでということは難しいのが現状であります。

職員の手作りでというご提案でございますが、設置は植込みの中等にということになるかと思っております。公道でありますので、風が吹いても簡単に倒れてはいけなものを設置するということになると、職員の手作りでは難しいと考えます。また市全域に対してもそういった案内が必要なのか、ということにつきましては全体的な検討が必要となってまいりますので、その地区だけにそういった案内を設置することが適切か検討する必要があると考えております。

2

栄町コミュニティ推進協議会で社会福祉協議会、高齢福祉課のご指導により「デイサロン栄町」を立ち上げた。設備について心配している。センターがバリアフリー化されていない。道路からの乗り入れの段差、特にトイレについては出入りの段差とタイル張りの和式であり、不便である。和式を洋式に変更していただきたく要望する。

回答：健康福祉部長

「ふれあいサロン栄町」の実施主体は、高齢福祉課が担当しております。介護予防の観点から非常に力を入れている事業であります。施設改修等につきましては生活安全課が担当となりますので、現場を確認させていただき対応について検討させていただきたいと考えます。

【後日文書回答】

ふれあいサロンは、高齢者の見守りや介護予防の観点から、高齢福祉課が実施主体となり、地域のボランティア団体が運営主体で開催されております。

「ふれあいサロン栄町」につきましては、栄町コミュニティセンターを会場として、栄町コミュニティ推進協議会の皆様のご理解とご協力により運営されているところであり、心より御礼を申し上げます。

ご要望のありました、栄町コミュニティセンターの設備の改修につきましては、コミュニティセンターの所管課である生活安全課の担当者が現地を確認させていただいたうえで、改修に向けて検討していきたいと考えておりますので、ご理解を賜りたいと思います。

3

上原地区に新たに公園が設置され、公園の境界にさつきが植えられている。子ども達がサッカー等をするとボールが隣地の農地に飛び込み、作物が傷む等の問題があった。高山議員と相談しネットフェンスを張り子供たちも喜んでいるが簡易なものなので、恒久的に使用できるフェンスの設置計画、時期をお教え願いたい

回答：建設水道部次長

市でも上原憩いの森公園の現状を確認し1mほどのネットフェンスが張られているのを確認しています。年度内に高さ1.8mのフェンスを設置する方向で調整しています。

4

来月には消防の火災予防週間がある。土曜日には消防団が鐘を鳴らし見回りを行っている。火事になっても石橋庁舎のサイレンが全然鳴らない。夏に役場の南のアパートの火事があったときもサイレンが鳴らなかった。防火週間などでも鳴らない。なぜ鳴らさないのか。

回答：生活安全課長

火事のサイレンについて、石橋消防署で鳴らすようになっております。消防署が現地に行き、地元の

消防団の出動を要望する必要であればサイレンを鳴らすようにしております。また、消防団幹部、団員全員にメールが届くようになっております。

火災予防週間のサイレンについては後日調べて回答いたします。

【後日文書回答】

始めに、タウントークでの回答について一部訂正させていただきます。

サイレンについては、石橋消防署が必要に応じて鳴らすと回答しましたが、平成21年4月7日に運用を開始した下野市防災情報伝達システム（屋外拡声器）整備に伴い、3庁舎に設置されていたサイレンは廃止となりましたので、火災が発生した場合は消防署が必要に応じて屋外拡声器でお知らせすることになっています。

また、火災予防運動週間についてもサイレンが廃止されたことから、運動期間中は毎日、地元消防団が夜警を実施して、火災予防思想の啓発と火災発生防止に努めておりますのでご理解をお願いします。

回答：市長

火事については石橋消防署が庁舎上の吹鳴（サイレン）のスイッチを入れるようになっています。また、市は防災無線で各地区にお知らせするようになっています。大きな音が出て驚く方が多いということと、病院近いなどの理由から上三川町、壬生町も庁舎の吹鳴を鳴らさないようにしています。屋外拡声器については聞こえづらい世帯や、戸締りしていると聞こえづらいなどの問題があります。今後どうすればお伝えできるようになるか検討してまいります。

5

隣の福祉施設で5年ほど仕事をしています。3年ぐらい前から水道の蛇口がおかしくなっている。担当者に話したら「予算が無くて修繕できない」と言われた。デイサービスも行っている施設なのでいつになったら修繕されるのか。

回答：健康福祉部長

当該デイサービス施設は市の運営ではないのですが、市の方からもお話をさせていただきます。

6

①細谷小の統合はどのようにすすんでいるか。

②「下野市の人・農地プラン」について、住んでいる方が新規就農した場合は、他市からの転入の場合のみなのか教えていただきたい。市街化調整区域なので新規転入者で増えようが無い。どんどん子供たちが減り①のように学校が無くなってしまえば、増々人が住みつかなくなる。こういった事業で農村の人口が増えないのか。

回答：教育総務課長

①について、昨年10月に学校適正配置の答申が出ました。これまでに議会や自治会、PTAの代表

の方に向けて答申の内容の説明を行わせていただきました。細谷小学校についても本年3月にPTAの方に答申の内容を説明させていただきました。平成24年度については市内で12回にわたって自治会、育成会と懇談会という形で意見交換させていただきたいと考えており、統合について具体的な動きが出ている段階ではございません。

回答：農政課長

②について、現在下野市に住んでいれば、転入者に対しても対象になります。この事業の要件では農地の所有権または利用権の設定がなされていること、また利用権の設定は3親等以内が1/2以下でないと対象外となることのほか、様々な要件がありそれらをクリアできれば補助対象となります。

7

- ①学校適正配置について、上町自治会は石橋駅前を境として石橋小学校と古山小学校に分かれるような答申内容の説明があった。なぜ、上町自治会だけが駅前通りを境に区分されるようになったのか。
- ②石橋小学校と古山小学校の現在の学童数はいくつか？
- ③上町自治会では65歳以上の世帯や空き家が増えてくる。上町自治会の今の0歳、1歳児が何名いるか調べていただき、次の答申の説明の時に話していただきたい。
- ④上町は石橋小学校と古山小学校に分かれているので、自治会としても育成会の運営に苦慮している。そういったことも含めて検討いただければと思う。

回答：教育総務課長

- ①について、市内の小学校では通学区域が決められていますが、上町地区だけが石橋小学校でも古山小学校でも良いという取扱いになっています。答申では児童の機会均等という視点から通学区域を決める内容になっています。
- ②について、石橋小学校が565名、古山小学校が491名となっています。
- ③について、11月21日に自治会の方との懇談会、3日には育成会との懇談会を予定していますが、未就学児の人数が117名となっております。0歳、1歳については調べさせていただきます。

回答：教育長

- ④について、これから上町自治会の方に十分に説明させていただき、また自由なご意見をいただきたいと考えております。子ども達の教育という点に目線を置いて計画、考え方を決めて行きたいと考えております。当然、十分に皆様の意見をいただきながら決めて行きたいと考えております。

8

私は岩手県からこちらへ転勤してきた。今回、東日本大震災は私の地元の近くで起きた。下野市は被災し困った方にどういった施策、支援を行っているのか。みんなで考え、できるところは支援していくべきだと考える。

回答：市民生活部長

下野市でも一人犠牲になった方がおります。その方の出身が宮城県亶理町であったことから、亶理町応援団を組織しました。現地での泥出し作業、4月には花見へ招待、7月には仮設住宅を訪問し、花見に来ていただいた方の様子を伺ってきました。仮設住宅にはまだ3,000人あまりの方が住まわれています。今月の日曜日（10月28日）には仮設住宅に伺いカラオケ大会を開こう、ということで企画しております。参加者には地元農家の協力を得て、地元産の新米をプレゼントいたします。こういった市を挙げて支援していこうと取り組んおり、今後も継続していきたいと考えております。

回答：市長

28日には亶理町応援団が行きます。29日には福島から避難されている方120名と友愛館で食事をし、意見交換会を行うことになっています。避難されている方々にも市民と同じように施策が受けられるよう、また上下水道料金の減免等も継続していく考えでおります。われわれができることは、応援に行くことやお話をし交友を深めること、また一番は「忘れない」ことだと思います。さらにもっと結びつきを深めたいと思います。

平成24年度市政懇談会「市長のいきいきタウントーク」議事録(要約)

期日:平成24年10月26日(金)午後7時～

会場:コミュニティーセンター友愛館

1	事前質問
<p>ゆうゆう館トレーニング室の充実を</p> <p>ゆうゆう館のトレーニング室は、曜日と時間が決められていて好きな日にちに利用できないため、きら館のトレーニング室のように、常時自分の好きな時間に利用できるよう検討してほしい。</p>	
<p>回答：健康福祉部長</p>	
<p>現在、ゆうゆう館トレーニング室の利用形態につきましては、介護保険を利用していない特定高齢者（介護予防検診において、生活機能の低下が認められた方）を対象とした、高齢者筋力向上トレーニング事業を、月・水・木曜日の午前9時30分～11時30分の間実施をしております。また、それ以外の月・水曜日の午後1時～4時30分、金曜日の午前9時～午後4時30分の間、市内在住の40歳以上の方を対象として、社会福祉協議会において1回300円にてフリートレーニング事業が実施されております。</p> <p>市としましては、合併以降の懸案事項であった3温浴施設の経営効率の観点などから、市内にありますゆうゆう館、きら館、ふれあい館の3温浴施設の特徴を活かし、機能を特化した施設としての運営を考えております。ゆうゆう館につきましては、露天風呂を新設して憩いのあるリラクゼーション施設として、きら館につきましては、健康維持のためのトレーニング機器の充実を図りながら、医療機関と連携したメディカルトレーニング施設として、また、ふれあい館につきましては、温水プールをメインとした健康フィットネス施設としてリニューアルを図っていく予定であり、それぞれに利用する方々のニーズに合った施設を目指し、市民サービスの低下を招くことのないよう利用しやすい形態をとっていきたいと考えております。</p> <p>移動手段に関しまして、現在運行しておりますデマンドバスをご利用いただき、ますます健康維持に努めていただきますようお願い申し上げます。</p>	

2	
<p>しもつけ市民芸術文化祭について、今年度から作品出店の際に、テーブル一つに対して500円を徴することとなったが、市民文化祭で場所代を徴収するのはいかがか。</p>	
<p>回答：教育次長</p>	
<p>文化祭の実施については各団体代表で組織した実行委員会を設置し、その運営方法等を決定しております。展示部門について、500円徴収に至った経過については、各分野の方が実行委員会の中で決定したことと思いますので、事情を確認した後日ご連絡したいと思います。</p> <p>【後日文書回答】</p> <p>文化祭につきましては、しもつけ市民芸術文化祭実行委員会により企画運営されております。</p>	

確認しましたところ、今年度より展示部門につきましては、テーブル1台又はパネル1面に付き5000円の出展料を頂いております。

以前は、テーブルのみレンタルし、市所有のパネルを利用し、会場の設営、撤去も出展された方々の協力により実施していました。しかし、テーブルはもとよりパネルが不足してしまうことや、経費や撤去時の人員確保が困難になってきました。

そこで、テーブルやパネルはレンタルとし、その設営撤去も業者に委託することとしました。そのため、事業費の関係から経費の一部を出展者の皆様に負担していただくことにより、例年どおりの文化祭を開催したものです。

3

老人クラブは昭和37年から連合会が組織され、50年近くになる。当初は自主的に組織された仲間が大勢おり、各自治会ごとに老人クラブがあった。現在国分寺地区では10クラブしかない。その原因はいくつかある。現在の会長たちは昭和一桁生まれがほとんどである。年齢的な他、健康、後継者がいない、リーダーの不足などの問題から、年々クラブが減少している。連合会としては、これから老人クラブを増やすべく活動したいと考えているが、まったく組織されていない自治会について、どのように働きかけて良いか困っている。そこで行政に自治会長会議などをおして、連合会と自治会の橋渡しをしていただきたい。集落の要望で自治会に説明にいきたいと考えている。

回答：健康福祉部長

役員が回ってくると辞めてしまう方が多く、会そのものの存続が厳しくなっていると担当課より伺っております。自治会長、老人クラブのご協力をいただけるのであれば、行政としても一緒になって繋ぎ役をさせていただきたくと考えております。担当課と協議し取り組んでまいりたいと考えております。

4

- ①自治医大前の区画整理後、23～4年過ぎているが、道路の補修がされていないところがある。補修の工事をきちんとされているのか、補修計画が市全体としてどのように策定されているのか。また、道路以外の建物についても補修計画は作られているのか。
- ②実質公債比率について、長期計画で平成27年度以降も特例債を使うという方針のようだが、27年以降30年ごろまでの実質公債比率はどのように推移していくのか。
- ③総合計画で「おもいやりと交流で創る新生文化都市」というテーマを掲げている。「おもいやりと交流」という気持ち的な面でやっているが、それらを進めるには「活力」が必要になるとおもう。そういった「活力」を生む政策をどのようにとっていくのか。例えば市の全産業の前年度、前々年度の売り上げ高の推移や実質公債比率の推移を示して市民を安心させてほしい。県の手帳の数字は古いものである。市の知的財産を活かした産業の振興なども進めるべきではないかと考える。

- ④「住んで良かった」という目標は結果だと思う。その前に住んでみようと思わないと人がなかなか定着しないのではないか。この市に住んでみようと思うデータがなかなか見つからない。特別養護老人ホーム待機者の数を広報に掲載していただきたい。このほか保育園の待機者数なども示していただきたい。
- ⑤広報紙について、表紙が変わった。標題がローマ字になり、間違えて捨ててしまったという方も多い。日本語で「広報しもつけ」と記載した方がよい。目次が後ろにあるが、前の方が良い。
- ⑥いじめの事件があったが、教育委員会の教育長、委員長の職務と権限について説明していただきたい。また、市民の窓口はどの課になるのか。
- ⑦生涯学習情報センターなどの生涯学習は教育でなく市民活動ではないかと考える。教育委員会ではなく市民生活、市民サービスグループに組織分けした方が良いのではないか。
- ⑧学校の中に警察官を退職された方が生活指導担当ということで巡回され学校が良くなった記事が出ていた。各中学校に元警察官を配置を検討してはいかがか。
- ⑨屋外拡声器は電気がこないと使えなくなると思う。停電になっても3日間は市民に情報が提供できるようにしてほしい。
- ⑩学校の耐震補強の状況がでていますが、耐震強度指数を示していただきたい。震度いくつまで大丈夫だから避難場所になっている、という裏付けが必要ではないかと思う。

回答：建設課長

①について、平成23年度に路面性状調査ということで道路の状態を確認したところです。その調査結果を受けて今年度整備計画を作成する予定であります。その他の道路も地元からの要望があった場合、庁内に検討委員会を設けまして、状況を判断しながら整備していくこととなっております。

回答：総務部長

②について、市におきましては財政健全化を図るため、昨年10月に長期の財政健全化計画を策定したところです。その中でそれぞれの推計値を定めまして平成27年度までの財政指標の推計を示しました。今回、合併特例債が32年まで延長されるということから、すべての歳入歳出をすべて見直そうということで進めております。特例債の枠が228億円ほどあり、どれくらい活用するかシミュレーションを行い、最大限活用した場合でもおおむね10%台、最高で11%、32年には10.2%ということで推計しています。

回答：総合政策部長

③について、総合計画の概要版のなかにも記載しておりますように、重点戦略に掲げる事業を進めるというのが具体的な推進策でありまして、総合計画大綱で6章にわたって具体的に進める事業の内容が記載されております。総合計画は全体で80ページほどのものとなっておりますが、この中にはある程度指標を示し目標値を定めております。今後そういった数値目標の中に全産業の数値等を含めるか検討してまいります。

また、市には優秀な方が大勢おられ、その知的財産の活用についても今後総合計画の中で検討してまいりたいと考えます。

回答：市長

④について、「住んで良かった」というのはここに住んでいる人間が言う言葉です。ここに住んでいる人間が「良かった」と思えるまちでないと、住んでみようという気にはなっていないと思います。教育、医療など様々な面でトータルでの地域の地力を上げていくことが第一だと考えております。

最初からここに住んでいる人には気づかない点が多いです。当たり前のように国道4号線、JR3駅があつて、地域の人にはこの交通の利便が最初からあつたこととなります。我々はどのようにこの利点を活用していくかを考えなければなりません。自治医科大学附属病院、小金井中央病院、石橋総合病院とこんなに医療に恵まれた地域はありません。消防は広域で1市2町（上三川町、壬生町）で行っており、自治医科大学附属病院と独協医科大学病院もテリトリーとなっています。また、小金井中央病院や石橋総合病院が地域医療の核となっています。

このほか、下野市のブランドとして下野国分寺跡、下野薬師寺跡の文化遺産の整備や、歴史上の偉人等をPRのDVDを作成したり、改めて本市の良いところを市民に再確認してもらう。そしてさらにもう半歩進んで「住んで良かった」となります。そして、さらに進んで「おいでよ」と言っていただけのようなまちにしたいと考えております。

中学校3年生までの医療費の無料化について、下野市の取り組みは早かったと思います。また、子宮頸がんのワクチンは大田原市と共同で一緒に施策を出しました。今のがんは早期発見によって、共存または治療することにより、そんなに怖くない病気となってきています。このように本市の医療を最大限に活かしたまちづくりであると考えています。

今日、給食調理員との意見交換会があり、その場でお願いをしてきました。就職するときに東京、関西に行く子供たちも、結婚して家を建てるときには、やっぱり卒業した学校に子どもを入れたい、地元に戻りたい、と思えるように子供たちを育てて欲しいお願いしています。

そういった気持ちで、みんなでまちづくりができる、意見交換ができるということをベースに、ひとつひとつ課題をクリアしていった結果「住んで良かった」といえるまちづくりをしたいと考えています。

全産業の売上高の話もありましたが、税収で言えば0.2ポイント下がったと説明しました。しかし本市の税収的な要素をみると、リーマンショック以降の様子をみても、この地域は底堅い所得の方がしっかりと住まわれており、法人税・市民税ともしっかりといただいております。本市は納税の意識が高い方が多い地域と思っております。また、未納者にはしっかりと督促し、公平を保っていきたいと考えております。子どもから見る大人の世界で、笑っている大人がいれば、子ども達もここにいたいと思いません。そういった街を創っていきたいと考えております。

回答：健康福祉部長

④について、特別養護老人ホームや保育園の待機者数については、複数の施設に申し込みしていたり、

<p>プライバシーに関わる問題等があり、お時間をいただかないと難しいと考えており、公開も含めて検討させていただきます。</p>
<p>回答：総合政策部長</p>
<p>⑤について、これまでの広報紙ではアンケートなどからみづらい、内容がわかりづらいなどの意見をいただいたことから、専門機関に意見を求めリニューアルしたところです。様々な意見をアンケートでいただきながら、目次の配置なども含めまして今後も見やすい広報紙を作っていきたいと考えております。</p>
<p>回答：教育長</p>
<p>⑥について、教育委員会の制度・仕組みは法律で規定されています。下野市教育委員会という合議機関は5名で構成されており、そのトップが委員長であります。この合議機関がすべての権限と責任をもっております。私は、互選により事務局を担当する教育長として選ばれ、日常的な事務を担当しております。</p> <p>窓口については、学校教育については学校教育課、幼稚園、奨学金などは教育総務課、生涯学習・公民館・図書館などについては生涯学習課、文化行政、文化振興などは文化課、スポーツはスポーツ振興課という5課体制をしており、その日常事務のトップが教育長となります。</p>
<p>回答：教育次長</p>
<p>⑦について、自主的にボランティア活動をしている団体を会員として登録し支援していく、という位置づけのもとに生涯学習情報センターを設置しております。登録団体も増えており、ミーティングルーム、ロッカー、印刷機なども活用していただいている状況です。このセンター当初の立ち上げが教育委員会だったため、すこし離れた部分もありますが現在の部署になっています。</p>
<p>回答：教育長</p>
<p>⑧いじめで大きな校内暴力事件などの場合、警察と連携が取れるような体制をとっております。市内4中学校では現在しっかりとした生活指導がおこなわれておりますので、警察官の配置は今のところ必要はないと考えております。</p>
<p>回答：教育次長</p>
<p>⑧いじめの関係について、下野市も平成22年度より学校教育サポートセンターを作りました。学校だけでは対応できない問題について、学校をサポート、バックアップするような組織を作りました。この間のいじめ事件を受けて、夏休み等に研修を行い、夏休み後にはサポートチームが巡回をしております。サポートチームにつきましては学校の管理職を経験した方に入ってください、オブザーバーな役割を行っていただいています。</p>
<p>回答：生活安全課長</p>
<p>⑨について、昨年の震災を踏まえ、屋外拡声器についてはリチウムイオン電池を設置しました。これにつきましては、停電になってから3時間の対応となっております。今後ほかの蓄電池なども調査しながら検討していきたいと思っております。</p>

回答：教育次長

⑩について、耐震の強度指標についてI s（アイエス）値（耐震改修促進法に基づき定められた構造耐震指標）が一般住宅ですと0.6、学校だと0.7となっております。補強は0.7以上になるように行っております。専門的な数字なため、今回具体的な数字を示しませんがそういった基準値となっております。

5

施設の利用料金について。ある方が施設を利用しようとしたら、満杯といわれた。市外の方の利用が多々見られた。使用料金について、市民と市外者は同じなのか？他市町では市外の方から3倍の料金をいただいているようなところがある。そういった取り扱いも考慮いただきたい。

回答：教育次長

体育施設関係では予約の手続きでの市内・外の差をつけています。市内の方の予約を優先し、期間をずらして、空きがあれば市外の方の予約を受けているという状況です。料金については区別していない施設が大部分です。

6

- ①万が一、また大きな地震が起きた時に、下野市がどういった動きができるのか。災害を想定したシミュレーションやマニュアルあるのか。
- ②災害時に民生委員本人が被災した場合に、その地区の障がい者、高齢者をどのように支え合えばよいのか。私は地元の民生委員の顔を知らない。自治会などとの協力を強めていただきたい。

回答：生活安全課長

①について、昨年の震災を受けて、現在市の地域防災計画を修正しています。防災マニュアルも同じく修正しています。職員全員が防災マニュアルを常に携帯しており、その災害に応じてどのように職員が行動するか記載しています。

回答：社会福祉課長

②について、民生委員には高齢者、障害者などに地域での誘導の経路、避難場所を伝えるよう依頼しています。また、民生委員自身が被害を受けた場合には、自治会及びNPOなどの団体の協力を得ながら地域で支え合うように、つながりの「輪」を作ってくださいということをお願いしております。

平成24年度市政懇談会「市長のいきいきタウントーク」議事録(要約)

期日:平成24年10月27日(土)午前10時～

会場:グリーンタウンコミュニティセンター

1	
<p>今年で22回目を迎えたエコライフまつりにおいて、今年度から商工会議所が多々の事情により、運営から離れた。実行委員長、GTコミュニティ推進協議会会長、副会長が調整協力に努力され開催にこぎつけたが、自治会が運営主体となれば1年ごとに役員が交代することとなり、限られた人が孤軍奮闘することとなる。市でエコライフまつりの調整準備にかかわる部署を設置できないか。市が運営で自治会が全面協力するという形であれば、今後もまつりを長く継続できると思う。</p>	
回答:市長	
<p>まつりというのはやはり地元の皆さんで作りに上げるということが大切であると思います。市が協力できることは考えていかなければなりません、市がまつりの主体となると趣旨が変わってしまうと思います。地元のみなさんでまつりを行っていただければありがたいし、地元で作ってきた歴史があると思います。役員の皆さんが大変な思いをされているかはよくわかりますので、どういったお手伝いができるのかを協議しながら、今までの歴史を大切にしていだければと思います。</p>	
2	
<p>今年度の敬老祝賀会が市で実施された。近隣市町村をみると市で行っている自治体がほとんどない。今後この敬老祝賀会を各自治会におろして行うような意向があるのか。また、100歳のお祝いや金婚式などの祝賀会はどうか。</p>	
回答:健康福祉部長	
<p>3年ほど前に自治会長会議の中で、市の今後の方針として自治会で敬老会を、というご提案をさせていただきましたことありますが、まだ地域の中でやるには熟しておらず時期尚早、ということで、行政で継続して実施しております。</p> <p>今後、自治会単位で行うような方向性が固まれば、市としても予算の範囲の中で手当てしていきたいと考えておりますので、ぜひともお願いいたしたいと思います。市の方向性としては、地域の中でお祝いされるのが高齢者の方にとっても喜ばしいものと考えております。</p>	